

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【上里小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 各学年で習得する知識・技能の定着に個人差がみられる。 <指導上の課題> 児童の実態に応じた課題設定や、課題に対する意識づけなど学習活動の工夫。	⇒ 既習事項の活用場面や振り返りを意図的に設定するなど、学習活動の工夫を行う。【大単元毎または学期末・適宜】 児童が学習や生活を自己評価する「がんばり表」の取組と連携させ、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。それらの工夫や活用方法を共有し、他教科にも生かせるようにする。【毎月末・10回程度】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 全国学力・学習状況調査において記述式の無解答が見られる。 <指導上の課題> 児童の主体性を引き出す学習活動の工夫。課題に沿った振り返りの場の設定。	⇒ 思考を可視化して表現し、考えを伝え合うことで、比較・検討する協働的な学びの場を設定する。それらの工夫や活用方法を共有し、他教科に生かせるようにする。【通年・教科に応じて適宜】 宿題・家庭学習等でも自らの学びや生活を振り返ることができるようにする。「がんばり表」【毎月末・10回程度】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)